

## 溝腐病（モミサルノコシカケ）

感染部位の幹が肥大成長しなくなり，次第に樹幹に縦溝が生じるほか，材の腐朽が進む。

多くの場合，溝の最も深い部分に枯枝・枯枝痕（菌の進入口？）が存在する。

腐朽が進むと灰褐色の子実体が発生する（キツツキの穴がよく開いている）。



左 溝腐病に感染したトドマツ

右上 モミサルノコシカケ